

のうきよう まがしづ



'95

2

No.242

のうきょう ものがいづつ

野を越え山を越え
スノーヒギルのスリルを満喫。
白銀の世界に飛び出し、
ウィンタースポーツを楽しもう。

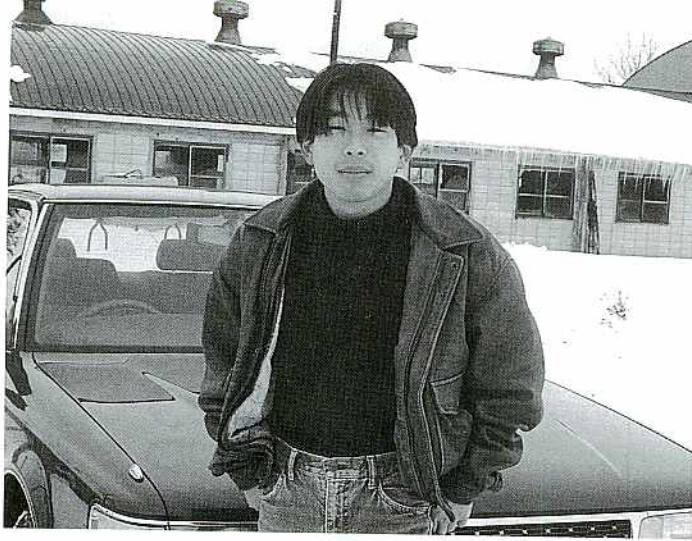


もくじ

- 3 ——— 〈未来を担う若者〉
現実を見、将来を想像
川上 勇一さん(23歳)
- 4~5 — 〈営農技術〉
じっくり考えた長期営農計画が重要
- 6 ——— 〈わが家の人気者〉
お兄ちゃんぶりを発揮
遠藤 周作くん(1歳7カ月)
- 7 ——— 〈組合長日誌〉
自己の責任と自立
- 8~9 — 婦人部新年恒例会
- 10~11 — 平成7年営農計画総集計
- 12~13 — 農協の財務状況
- 15 ——— 理事会の経過
- 17 ——— 〈暮らしの知恵袋〉
インフルエンザにご注意を!
- 18~19 — 今月のフォトアルバム
- 20 ——— 1月の組合日誌

あす 未来を 担う若者

南武佐 川上 勇一さん(23歳)



「この町で何かをやってみたいが、それは農業なのか、何なのかまだ答えは出ない」と話すのは川上勇一さん二十三歳。

勇一さんは、武佐で五十鈴の経営面積に乳牛約九十頭を飼養する酪農専業農家・川上隆さんの長男。

武佐小中学校を卒業し、農業を目指すべく中標津農業高校へ進学

現実を見、将来を想像

するが、しかし、ここから勇一さんの進む道に変化が起きたのである。

それは、高校の気の合う仲間で作った「ミニコミクラブ」。これは学校での出来事や、部活の話題、先生へのインタビューなどを紹介する校内広報紙。この作成で特にイラストや絵の部門を担当したのが勇一さん。小中学校時代から絵を描くのが好きだった事もあり、勉強もしたが、むしろ絵を描く事に熱中していたそうだ。

そんな高校生活を送るうち、決心したのが美術への道。もともと何をやるにしても一度は家から離れ人生勉強をしてみたいと思っていた事もあり、家族を説得し、札

この町で何かをやってみたい

幌の美術専門学校に進学。家族の意向と反する自分のやりたい事なので、家からの仕送りは一切受け

ず、生活費、学費もすべてアルバイトで賄ったという。

学校は夜間制で、午後六時から九時まで週三回。字のデザインやポスターの構成、キャラクターのデザインなどを勉強した。

札幌の生活も一年が過ぎ、学校も二年目からは専門的な分野に入り、益々おもしろさを感じて来た時の事、突然、父隆さんが体調を崩し、長期的な療養が必要となったため、家に戻る事になったのである。学校は一年間休学という形をとっていたが、一年たっても父の体調が回復せず、遂にやめる事になったそうです。

家業の酪農に就いて三年、今は



貝をイメージしてデザインしたバスケット画

川上牧場の片腕として頑張る毎日であるが、「将来自分が農業を継ぐかどうかは、まだ決まっていない。しかし、この町は夢の持てる町。ここで何かを作り出して行けそう」と話す勇一さんです。

農業と美術、一見結びつかない様に思うが、それは空間的、視覚的な事を表現する中では共通するものがあるようです。

現実を見、将来を想像する。たとえそれは夢でも空想でもいい、何も考えない現時点よりは一歩も二歩も進んでいるはず。今、勇一さんの頭の中では、何かが表われようとしているのです。

じっくり考えた長期

営農計画がますます重要!

(パソコンソフト夢道場の紹介)

酪農経営の目的は、土・草・牛を要とした農業生産によって、経費(金)を牛乳(物)に変え、その販売によって再生産のための経営費と

利益(金)を得るという作業を繰り返し、生活を営むことにあります(図一)。

また、経営者はそれぞれの課題解決のために、「計画」「実践」「評価」

図1 経営の循環図

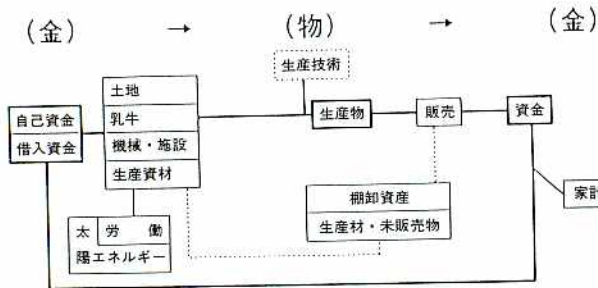
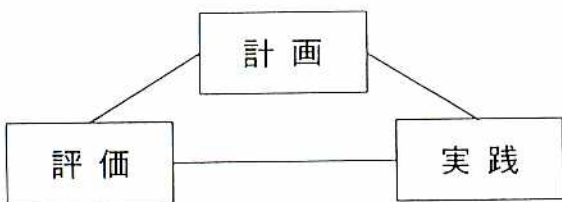
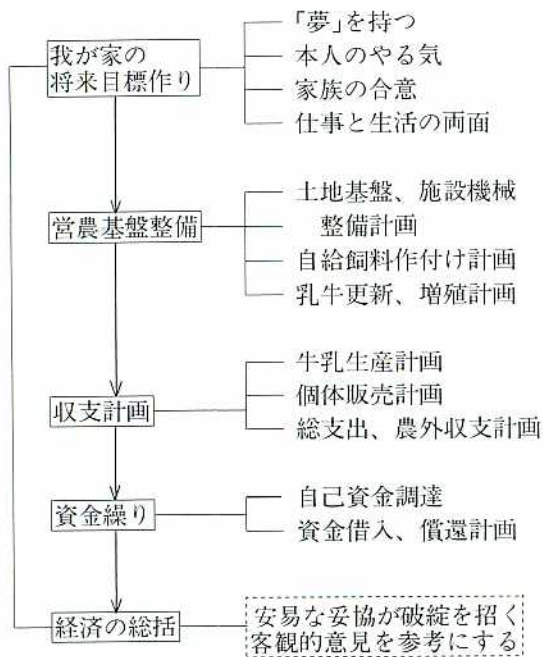


図2 マネージメント・サイクル



「計画」：営農計画、投資計画、生産目標、家族計画
 「実践」：生産、施設建設、牛・機械購入
 「評価」：決算、簿記記帳、経営分析・診断

図3 計画作成の流れ図



を繰り返し、その都度、重要な意思決定を下すこととなります(図二)。
 販売物の価格が安定しているときは、大まかな単年計画でも経営収支をそこそこ赤字にすることも可能です。その逆に価格の下落が予想されるときは、長期に亘る計画性がなければ、予想通りの所得を毎年確保することは難しくなります。さらに、家族労働が大部分の酪農生産を支えている訳ですから、営農計画の本身は、家計やゆとり面で家族と合意できることが前提となります。

今後の酪農経営では、経営主一人だけで考えた単年の営農計画だけでは、不十分になることが予想されます。こうした状況の中で、威力を発揮するのがパソコンを利用した長期営農計画ソフト「夢道場」です。このソフトは、

- ① 生産計画(牛乳、牛増殖)
- ② 収入計画(乳代他)
- ③ 支出計画(費用、家計費、財産的支出)
- ④ 資金計画(既存負債償還)
- ⑤ 投資計画(新規借入金シミュレーション)

と幅広く、総合的な営農計画を樹立することができます(図三)。

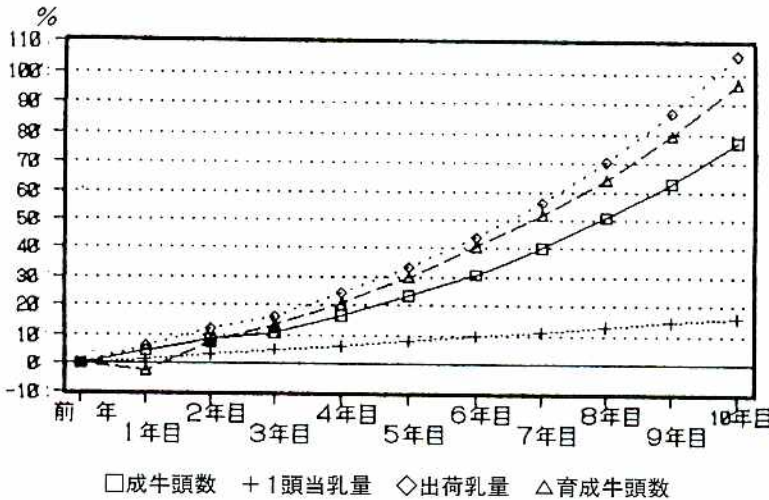
計画は前年の経営実績をもとに、十年後の経営まで計算できます。また、簡易な経営分析も同時に実施できます(表一)ので、投資計

表1 夢道場の簡易経営診断
【経営診断資料】

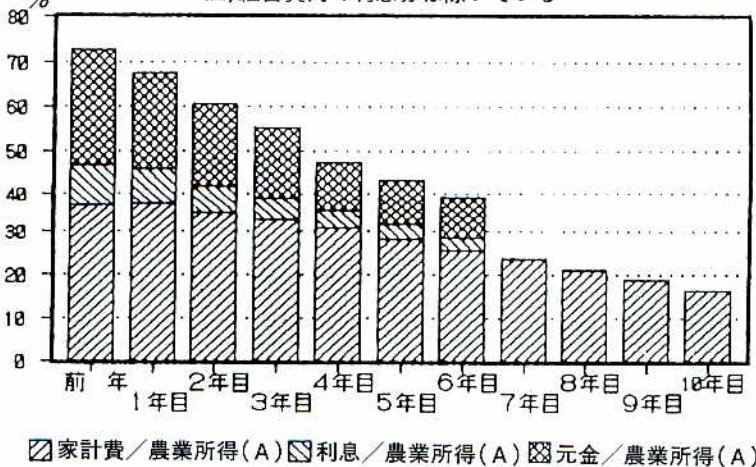
項目	単位	前年	1年目	2年目	10年目
①初産牛率	%/100	22.2	35.2	24.4	31.3
②経産牛更新率	"	22.2	26.5	25.3	25.4
③農業所得率(A)	"	47.5	46.5	47.4	49.8
④ " (B)	"	42.8	42.6	44.1	48.0
⑤売上高負債比率	"		91.2	77.3	45.6
⑥1頭当り負債額	千円		473	405	248
⑦支払利息比率	%/100	4.7	4.0	3.3	1.8
⑧牛乳1kg当り経営比(B)	円	38.49	36.25	37.34	40.31
⑭負債残高計 ⑫+⑬	"		45,532	39,558	27,534

画や経営改善計画だけでなく、乳価変動に伴う経営状態の推移もシミュレーションできます。計算結果は表印刷だけでなく、

図4 夢道場シュミレーショングラフ
各指標の増加率(予測)



農業所得(A)に占める家計費・利息・元金の割合(予測)
注)経営費内の利息分は除いている



画面にグラフ表示もできますので、経営者・家族と営農指導員・普及員とがパソコン画面を見ながら相談を繰り返すことも可能です。計画樹立に当たっては、

① 組勘の実績表(三年分)
② 資金ごとの返済明細書
③ 乳検成績(牛群、年間成績)などをを用いて、基礎データの入力

整備をする必要があります。特に、乳牛の増殖計画には、乳検成績が不可欠です。繁殖や更新の状態がデータとして取りまとめられた乳検成績は、経営的な面でも使い道が多く、今後ますます必要性を増してくるでしょう。

組勘の営農計画も終わったこの時期に、いままさら営農計画など見

たくない人もいます。納得のいくまで十分相談を繰り返して、将来の牧場経営の姿を考えておくことも大切です。

農閑期にじっくり経営を考えた方は普及センターまで、ご相談下さい。

わが家の人気味

お兄ちゃんぶりを発揮



南俣落 遠藤昭男・美智子 さんご夫妻
周作くん(1歳7カ月)

言葉も少しずつ話すようになりかわいさが増してきた、遠藤さん宅の長男・周作くん(二歳七カ月)は、元気なかわいい男の子。人見知りもせず、玄関まで迎えにきてくれ、ニッコリ笑ってくれました。おしゃべりはまだだけど、かたことの言葉で意思表示できるようになり、家族みんな、周作くんの成長ぶりに目が離せないようです。

いまは、オモチャよりも、カセットデッキや電話などに興味があるようで、この日もカセットから手が離れません。電話にもさわりましたが、お母さんも困っちゃいます。

弟の秀之くん(二カ月)が生まれ

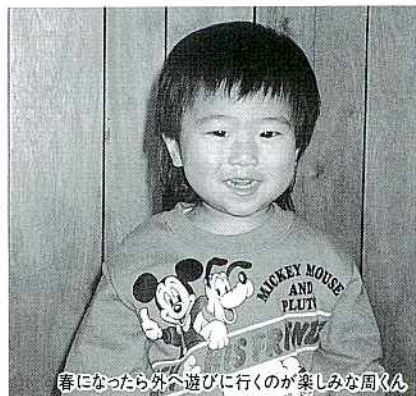


お父さんとツーショット、元気一杯です

てからお母さん達の目が、弟の方に行くようになり、淋しくなるのか、ちよつとしたいたずらで気を引こうとする周くんの様子を、お父さんが目を細めながら話してくれました。でも、やっぱりカワイイ弟、頭をなでてあげたり、抱っこしたがつたりするところをみると、お兄ちゃんぶりもしっかり発揮しているようでした。

歌にあわせて踊ったり、ジュースを持ってカンパイしてくれたり、周くんを中心に遠藤家は毎日にごやかなようです。

「自然に育ってくればいいよ」



春になったら外へ遊びに行くのが楽しみな周くん



ボクのがわいい弟です。一緒にハイ・ニッコリ

とのお父さんの言葉には、愛情がたくさんこもっていました。やさしい家族に囲まれて、元気にスクスク育っている周作くんでした。

例年になく穏やかなうちに正月を迎えた中、瞬く間に一カ月が過ぎてしまいました。

昨年の東方沖、三陸はるか沖地震に引き続き、兵庫県南部地震が発生しました。

関東大震災に匹敵する関西大震災になってしまいました。被災地の方々への心からのお見舞いと、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

東方沖地震では、多くのJA組織のご支援を受けました。今回は立場は逆になってしまいましたがお礼と感謝をこめて、被災地のJA組織に支援したいと思っています。当組合員、職員の皆さんのご協力をお願い致します。

人口密集地域での被災の怖さを学ぶと共に、近代都市の意外な無力を見る思いがしました。

地震は天災であり、決して個人の責任ではないのですが、立ち直るための最終的な力は個人の自立心にある様です。

国や地方行政の事前、事後の対

策は決して万全ではなかった様ですが、他の責任を求めても本質な解決や、再建にはなりません。個人や、家庭の社会的な自立の必要性を痛感すると同時に、我々の日常生活のあり方と、常日頃の自立

●今月のたより……

組合長日誌

代表理事 組合長

三友 盛行



のあり方を問い直す機会になりました。

平成六年の組勘の精算と、七年の営農計画の認定が終了しました。

六年の組勘実績では、預り残高が百三十五戸で一億八千九百万円

余。貸越残高百六十一戸で四億二千三百万円余でした。

割賦、証書に借り替えが四十二戸で、一億四千七百万円余でした。組勘実績は五年に比較しますと、約一億円の悪化となります。

また過去六年間では平均所得、所得率は一番良い結果でした。

以上の数字から見ますと、生産調整下に対応した経営が行なわれており、経営への影響を最小限に抑えていることが思われます。

その一方で、経営力の格差が著実に拡大しています。

昭和四十年代からの農業近代化の過程で、今日まで三十年の月日が経過しました。

この間、生産の拡大は原則的に自由であり、乳価、農産物の価格

も農民に等しく同じでありました。スタートも負債も若干の違いはあったとしても、大同小異の域でした。この様な基本条件の同じ農家に、今日の経営格差が生じた原因

を改めて考える必要があります。

一般企業ならば倒産か、経営主の交代です。倒産に至らないのは、

是非はありますが農協組織に依るものです。



家族経営では、長年の組勘赤字の責任を、経営主の交代で行なうことは難しいものです。

責任者の交代が行なわれないとすれば、経営主の経営に対するあり方、姿勢の根本的な転換を望みます。

経営不振は乳価や、生産調整などが一次的要因ではなく、個々の経営のあり方に大きな要因があります。

天災、人災、経営、家庭、それぞれにおいて、最後に問われるのは自己の責任であり自立であります。

新しい営農年度が始まりました。ぜひ良い結果の年であります様、心から願っています。

婦人部新年恒例会 開催される

今年も手づくり新年会

一月二十四日(火)、農協大会議室において、婦人部新年恒例会が開催されました。今年も「みんなで作る新年会」をテーマに、役員、支部長の協力により去年から準備を進めてきました。

二回目の手づくり新年会という事で、楽しみにされている方々の期待をうけて、一坪ショップ出店への呼びかけや、手づくりのいもだんごあんみつ、Aコープゼリー

をつくるなど、役員も大はりきりで準備に熱が入りました。

新年会当日は、あいにくの吹雪模様でしたが、部員さんの出足も良く、会議室はとてにぎやかな

Aコープ商品の PRも

雰囲気となり、ホッとひと安心。横田部長の挨拶を始めに、三友組合長、普及所・長岡主査の祝辞をいただき、青年部・高橋副部長の音頭で乾杯し、会食に入りました。

新年会の目玉行事である一坪ショップも、去年から出店されている方々に加えて、新しい顔ぶれの出店も目立ちました。

フレッシュミセスのリサイクルの店や、手づくりお菓子の店などが並び、お目当ての品物を買って求めた人で大にぎわいとなりました。



大変盛りあがったゲーム大会の様子



「箱の中身は?」牛の犬形が入っていました



一坪ショップ
ゲームで
賑わう

盛りだくさんな内容で、楽しい一日を過ごし、新年、幕開けの盛大な行事となりました。



みんな楽しみにしていた一坪ショップも大成功でした



お菓子などご自慢の味を披露してくれました

第12回 肉牛振興会定期総会開催される

第十二回中標津町農協肉牛振興会定期総会が一月二十八日、中標津保養所温泉で開催され、平成六年度事業報告、収支決算及び平成七年度事業計画、収支予算案が審議されました。

総会では、横田国雄氏が議長に選任され議事を進行。平成六年度

婦人部三役でも、Aコープマーク商品をつかった手づくりコンニャクを販売し、商品の良さを知らせてもらおうとPRしました。

また、ゲーム大会も、思考をこらした内容で進められ、「すこしでもみなさんに」とたくさん用意された景品も、ゲームを盛り上げるひとつとなったようです。

一坪ショップやゲーム大会など

府県先進地視察を計画

役員改選で
鷺見 孝氏会長に!

は、ガット後の肉牛戦略と今後のあり方、和牛改良の方向、黒毛和種の見方、飼養管理と哺育育成についてなどの研修会を開催し、鹿児島県から和牛八頭を購入した旨報告がされました。

平成七年度については、会員相互の技術錬磨を目的とした懇談会や講習会開催の他、新たに府県肉牛先進地の視察研修を実施する事

が決定されました。

また、任期満了に伴う役員の変更が行なわれ、各部会からの選考委員により慎重な討議の結果、満場一致で次の役員が選出されました。

会長 鷺見 孝

副会長 安達 勉

会計 千葉 清正

監事 佐藤 載康

大内 利市

集計

営農計画は、その年の組合員農協事業の基本書です。

単位：千円

	収		入	
	6年計画	6年実績	7年計画	過不足
生乳	6,348,538	6,104,426	6,312,076	207,650
補給金	556,897	613,396	557,306	△56,090
小計	6,905,435	6,717,822	6,869,382	151,560
乳用牛	449,771	489,761	486,825	△2,936
肉用牛	351,710	263,263	296,704	33,441
その他畜産物	2,434	2,095	5,958	3,863
個体販売計	803,915	755,119	789,487	34,368
家畜共済金	165,318	308,059	139,338	△168,721
畜産物計	7,874,668	7,781,000	7,798,207	17,207
馬鈴薯	495,822	545,661	499,964	△45,697
てん菜	147,614	184,474	148,870	△35,604
その他農産物	15,955	13,875	15,140	1,265
農産収入計	659,391	744,010	663,974	△80,036
農業雑収入	185,945	357,106	264,369	△92,737
農業収入計	8,720,004	8,882,116	8,726,550	△155,566
農外収入	39,374	52,000	39,140	△12,860
資金借入	0	61,207	6,547	△54,660
資金受入	200,818	358,181	193,431	△164,750
その他				
合計	8,960,696	9,353,504	8,965,668	△387,836

	総収入合計
6年計画	8,941,116 ^{千円}
7年計画	8,965,668 ^{千円}

	総支出
	8,974,657 ^{千円}
	8,956,157 ^{千円}

	収支・過不足
	△33,541 ^{千円}
	9,511 ^{千円}

	農業収入
6年計画	8,720,004 ^{千円}
7年計画	8,726,550 ^{千円}
6年実績	8,882,116 ^{千円}

	農業経営費
	5,589,020 ^{千円}
	5,541,960 ^{千円}
	5,698,351 ^{千円}

	農業所得	所得率
	3,130,984 ^{千円}	35.9%
	3,184,590 ^{千円}	36.5%
	3,183,765 ^{千円}	35.8%

	平成6年	平成7年
乳量	88,528 ^t	89,385 ^t
てん菜	209.9 ^{ha}	205.4 ^{ha}
馬鈴薯 澱原	種子 89 ^{ha}	76.7 ^{ha}
	748 ^{ha}	737.9 ^{ha}
乳用牛	4,288 ^頭	3,482 ^頭
肉用牛	6,129 ^頭	5,977 ^頭

平成7年

営農計画総

	支		出	
	6年計画	6年実績	7年計画	過不足
労賃	84,781	78,899	88,229	9,330
肥料	624,459	613,981	589,574	△24,407
生産資材	360,705	398,494	374,262	△24,232
水道光熱	345,672	361,519	355,999	△5,520
飼料	1,860,574	1,811,749	1,832,746	20,997
養畜費	296,036	313,660	310,813	△2,847
素畜費	72,735	68,290	70,018	1,728
農業共済	337,542	337,983	342,110	4,127
賃料料金	519,417	545,238	519,075	△26,163
修理費	274,558	347,349	281,509	△65,840
租税諸負担	369,882	365,190	362,969	△2,221
支払利息	324,174	319,375	296,432	△22,943
その他経営費	118,485	136,624	118,224	△18,400
農業支出計	5,589,020	5,698,351	5,541,960	△156,391
家計費	1,503,313	1,662,758	1,546,459	△116,299
経営費+家計費	7,092,333	7,361,109	7,088,419	△272,690
資金返済	795,902	875,463	763,632	△111,831
貯金共済	906,072	937,038	924,009	△13,029
農業機械	79,124	189,781	82,976	△106,805
その他	122,645	274,050	97,121	△176,929
合計	8,996,076	9,637,441	8,956,157	△681,284

年度\科目	総所有地	改良草地	永年草地	畑地	山林・原野・その他
6年	16,106.69 ^{ha}	9,518.16 ^{ha}	2,841.36 ^{ha}	1,212.3 ^{ha}	2,534.87 ^{ha}
7年	15,948.59 ^{ha}	9,480.16 ^{ha}	2,760.76 ^{ha}	1,206.1 ^{ha}	2,501.57 ^{ha}

年度\科目	乳牛総頭数	12ヶ月以下	13ヶ月～24ヶ月	25ヶ月以上
6年	23,939 ^頭	4,439 ^頭	5,450 ^頭	14,050 ^頭
7年	22,635 ^頭	4,164 ^頭	4,848 ^頭	13,623 ^頭

農協の 財務状況

平成六年度十二月末における、財務の状況についてお知らせいたします。

貸付金

前年同期より貸付金全体では、七千百万円の増加になりました。貸付金別では、組勤が前年度より九千百万円の増加、長短期資金で一億五千六百万円増加、受託資金が一億七千六百万円減少しました。受託資金の減少については、規模拡大などの設備投資の減少が主な要因とされています。

クミカン

預かり残については、前年同期より約八百万円の減少、貸越残が九千百万円の増加になりました。しかし猛暑による生乳生産の減少、個体価格の低迷のなか、貸越残が前月より三億四千六百万円減

少したことは、組合員皆様の経営努力の賜とされています。

貯金

前年同期より二億五千万円増加しました。伸び率では前年を大きく下回りましたが、販売代金などが減少のなか、貯金を伸ばして戴いたことに対し感謝申し上げます。

自己資本

出資金、積立金でそれぞれ増加しており、前年より四千二百万円の増加となっております。

販売事業

馬鈴しょ、ビートの畑作については前年を上回ることが出来ましたが、生乳、個体販売が前年を下回り、販売取扱い高では前年同期より一億一千五百万円の減少になっております。

販売代金の減少が、クミカンに



JA共済の「健康ほつとライン」

健康なんでも電話相談

平成6年4月1日オープン



なんだか寝れが
とれなくて...



人間ドックで太りすぎ
といわれた、体重を
減らすには？



車椅子を貸してくれる
ところは？

JA共済は電話により共済契約者・ご家族をはじめ組合員の方々の健康づくりのお手伝いをいたします。全国どこからかけても無料です。お気軽にお電話ください。



0120-860-540

ご相談いただける時間 ● 10時～18時(土、日曜日、祝日を除く)

大きく影響を与えているものと思
います。

購買事業

営農資材、生活店舗併せて前年
同期より二億二千二百万円の減少
になりました。

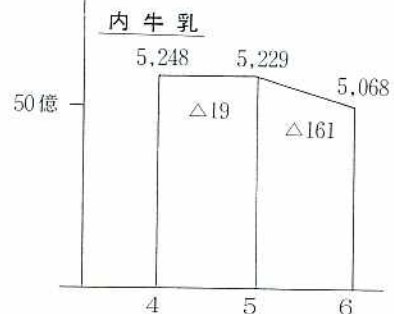
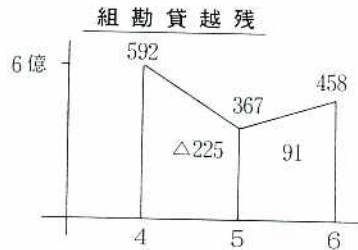
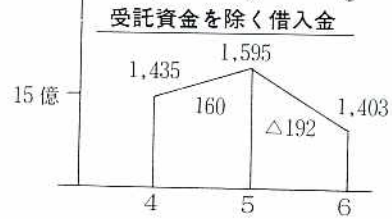
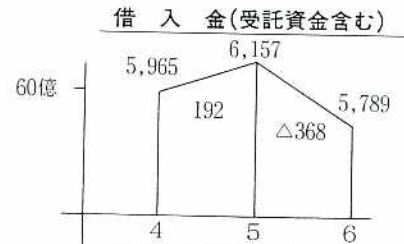
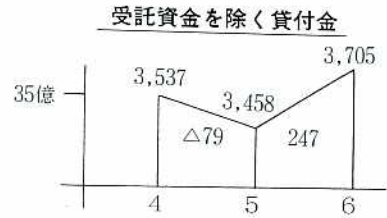
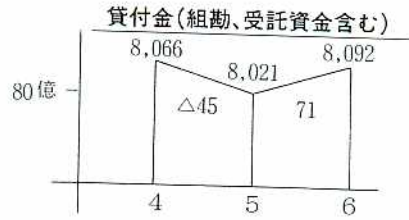
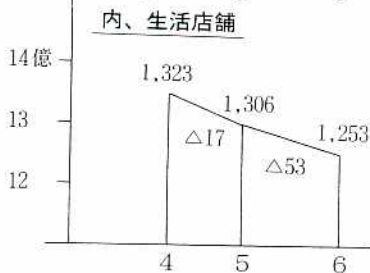
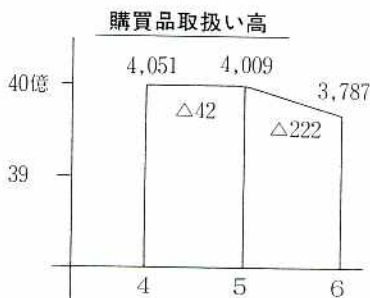
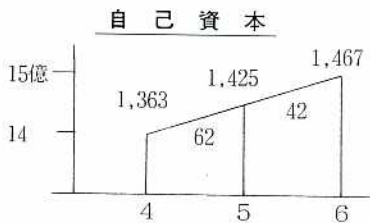
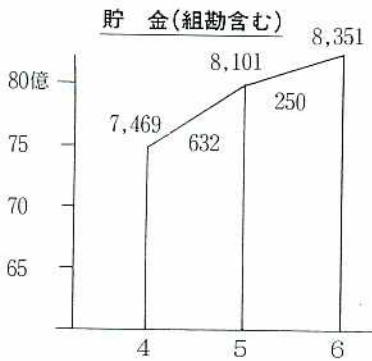
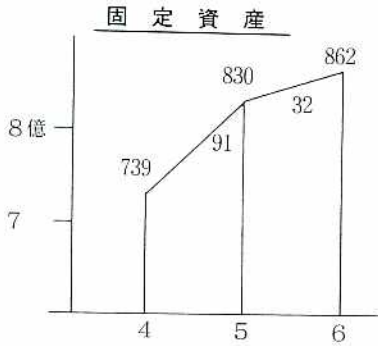
営農資材の主な減少部門は、肥
料、飼料、種子、農機具などで補
助事業の減少、飼料の価格引き下
げなどが主な要因と思われれます。

六年度の特徴的なことは、販売、
購買と経済事業の不振が顕著に現
れており、現在の農業情勢を反映
しております。

このような農業情勢のなかです
が、業務全般にわたって役職員一
体となって努力をしております。
組合員皆様のなご一層のご理解
と協力をお願いいたします。

事業概況

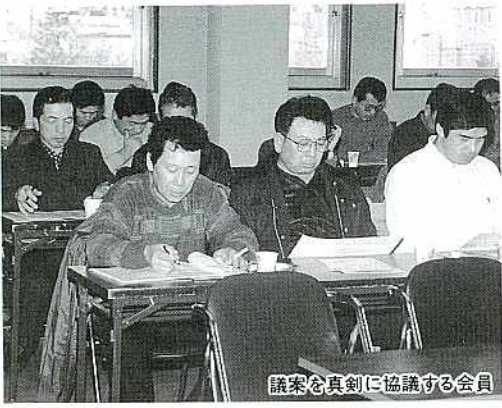
各年度12月末現在(単位百万円)



第18回
馬鈴しょ振興対策協議会
協議会
定期総会開催

新役員体制決定

馬鈴しょ振興対策協議会第十八回定期総会が、一月二十七日農協大会議室において開催されました。上原会長の挨拶の後、三友組合



議案を真剣に協議する会員



長洲氏を議長に総会議案が協議されました

長、長岡普及所主査の祝辞をいただき、議長に拓農の長洲重樹氏を選出し、提出議案の審議が行なわれ全件原案通り承認されました。引き続き行なわれた役員改選では、各集団から選考委員を選出し慎重な討議の結果、満場一致で次の役員が選出されました。

会長 正城 純一（新任）
副会長 安達 武（再任）
副会長 石橋喜美夫（新任）
監事 亀代 務（新任）
監事 西崎 敬造（新任）

1月～6月配合飼料価格据え置き

J A全農は、平成七年一月～六月期の配合飼料価格について、昨年十二月の理事会で据え置きを決めました。飼料穀物や海上運賃、一部副原料価格の上昇など値上げ要素があるものの、厳しい畜産経営の状況から、配合飼料全銘柄について価格を据え置きとしました。飼料穀物情勢は、トウモロコシはアメリカでは記録的豊作が見通されるものの、中国産の輸出激減

などで需要が米国産に集中、米国の内需も堅調で、底固い推移が予測されます。大豆粕、魚粉相場についても堅調な推移となっています。また、海上運賃は、景気回復から、昨秋以降急騰し、十三年ぶりに三十ドル台を越す展開。為替相場も昨年十月以降円高局面となったものの、その後円安に推移し、百円台の展開となっています。

実習生受入協議会総会

**後継者対策
新規就農に参画**

中標津町農協酪農実習生受入協議会の第十二回通常総会が一月三十一日、農協中会議室で開催されました。

平成七年度の活動として、広報紙による実習生の募集、女性実習生の受入れによる後継者結婚対策



会長の佐藤載康氏

交流会の開催、中国研修生の受入、新規就農者支援などを積極的に行なって行く事となりました。また、役員改選が行なわれ、会長に、佐藤載康氏が再選されました。

理事会

の経過

第十二回理事会

開催日時 平成六年十二月二十六日

日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈議案〉

- 一、乳質ペナルティーの用途について
 - 二、家畜伝染病などの防疫対策について
 - 三、固定資産の処分について
 - 四、生産資材（農薬・肥料）の対策費支出について
 - 五、固定資産の取得について
- 以上、五議案原案通り決定しました。
- 〈協議事項〉
- 一、地区別懇談会の意見について
 - 二、役員定数審議会の設置について
 - 三、平成七年度営農計画書の協議について
 - 四、平成六年度人工授精事業の状

況について

五、出資金の増口依頼について

〈報告事項〉

- 一、組合員資格の変更について
- 二、生乳生産状況と今後の生乳生産、政策、価格対策などについて
- 三、生乳生産意向調の結果について
- 四、平成六年度指定助成事業などについて
- 五、平成六年度畑作物の生産状況と澱粉工場の操業結果について
- 六、年末年始各部営業日程について
- 七、人事について

第十三回理事会

開催日時 平成七年一月三十日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈議案〉

- 一、北海道農業信用基金協会に対する出資増口について
- 二、北海道厚生連に対する出資の増口について
- 三、災害復旧資金の借入について
- 四、役員定数審議会規程の設定に

ついて

五、定例自治監査の監査報告について

- 六、固定資産の取得について
 - 七、案畜集荷車のリース更新契約について
 - 八、汚染原料乳の損害賠償責任保険について
 - 九、平成七年度営農計画の認定及び補助供給について
 - 十、各種制度資金の貸付について
- 以上、十議案原案通り決定されました。

〈協議事項〉

一、良質乳生産対策について

〈報告事項〉

- 一、平成六年度十二月末組勘状況報告について
- 二、第一回役員定数審議会の経過報告について
- 三、組合員の資格変更について
- 四、生乳生産状況について

役員定数審議会発足

三月上旬に答申

第四十七回通常総会でご意見がありました。役員定数について、審議答申を戴くため、理事会の議を得て各地区から二人、計十四人の委員構成で役員定数審議会が発足いたしました。

第一回審議会を一月二十日に開催、組合長より委嘱状の交付後、議事に入り、委員長に板橋松寿氏、副委員長に中林忠雄氏を選任し、三月上旬をめどに役員定数について答申を戴く事になりました。

役員定数審議会委員名簿

地区	委員
当 幌	舟田 正義、松田 吉正
中 標 津	白築 政博、桜井 幸一
依 橋	福嶋 信一、中林 忠雄
武 佐	松田 征二、高橋 正一
開 陽	高平 幸夫、土井上昭男
俣 落	板橋 松寿、小林 茂
第2俣西竹	滝ヶ平義明、滝本 広

酪農ヘルパーの 充実に向けて

モニター座談会開催される

今回は、モニターの他、各農協ヘルパー担当者も出席しての座談会となり、利用者から見るヘルパーの良い所、改善事項などさまざまな角度からの話し合いが行なわれました。

酪農ヘルパーを営業する(有)ファム・エイ(白井勝也社長)では、ヘルパー利用者である酪農家の奥さんを対象にモニターを設定。一月十一日、座談会が行なわれました。

このモニターは、ファム・エイにヘルパー業務を委託する三農協(中標津、計根別、上春別)のヘルパー利用組合から各二人ずつ、六人が昨年六月に選出され、ヘルパー利用にあたっての意見、要望などを話し合い、酪農ヘルパーの稼働を充実させて行くもので、座談会は今回で二回目の開催。



ヘルパー利用に対する意見が話されたモニター座談会

冬道の安全運転

冬道の特徴
タイヤの性能を理解し



く理解して、その性能に応じた運転を行なう事が重要です。

次の事に注意し、安全運転に心がけましょう。

一、冬道は夏期の四倍〜八倍も滑りやすくなります。滑りやすさをしっかり自覚、「夏場感覚」を捨てましょう。

二、危険な「スリップ現象」が簡単に発生します。冬道でのスリップと冬道運転の基本を理解しましょう。

三、ブレーキを踏みすぎると、車輪がロックします。車輪がロックしないように徐々に踏み込みましょう。

四、ブレーキとハンドルの同時操作は危険です。まず十分に減速してからハンドルを操作しましょう。

◎冬道こそシートベルトを確実に装着しましょう。

このような状況下で交通事故を防止するためには、実際に車を運転する方々が冬道の特徴、自動車、タイヤの性能などを正し



暮らしの

知恵袋



インフルエンザにご注意を!

北根室地区農業改良普及センター

今年是全国的にインフルエンザが大流行しています。また、何種類ものインフルエンザが同時に広まり、その症状は腹痛、頭痛、関節痛、おう吐、下痢など数えればきりがありません。

この病原菌は三三度前後の温度で増殖しやすく、私達の鼻は増殖に最も適した場所といえます。また空気を媒体として人から人へうつりますから、閉めきった室内での汚れた空気の中では、ウイルス活動が活発になりがちです。また、湯冷め、夜ふかし、薄着などをすると病気に対する抵抗力

が弱まります。かぜだから、と甘くみないで、体がだるくなったり、のどの痛みを感じたら早めに手当てすることが大切です。

まず、体を温め、ゆっくり床に着いて休養することと、うがいを慣行し、十分な栄養をとるように心がけましょう。

◎室内の温度・湿度・換気

寝養には休養が一番です!



かぜは鼻や口の粘膜を通して、ウイルス感染によって起こります。冬にかぜが流行するのは、空気が乾燥するからです。かぜのウイルスは乾いた汚れた空気が好きで、新鮮な空気には弱いのです。冬になるとストーブを暑いと感じるまでたいて、さらに閉めきった室内に大勢の人が集まりがちになります。するとウイルス菌の絶好の増殖場所となり、家中皆にうつってしまいます。

室内温度は二〇度前後、湿度六〇%を目やすく調節しましょう。加湿器の利用も検討して下さい。また、夜寝ている時に加湿すると、どうしても朝起きた時に鼻やのどが乾燥するので、室内に洗濯物などを干して加湿するのも良いですよ。

寒いから、と閉めきらず、時々外の新鮮な空気を取り込むことも忘れないで下さい。

◎うがいを忘れずに

外から帰ったらうがいをしましょう。市販のうがい薬を利用して良いのですが、すでにかぜをひいてのどが痛いときは、ぬるい番

茶に塩ひとつまみを入れて、うがいをします。お茶に含まれるタンレンの収れん(縮む)作用がのどの腫れに有効です。

◎体の中からも暖かく

体力や気力が充実していると、あまりかぜはひきません。インスタント食品やスナック菓子をたくさん摂取すると、お腹はいっぱいになりますが、栄養価が低く、結果として体力を低下させます。

冬は汁物や鍋物がおいしい季節です。野菜をたっぷり入れた温かい食事を心がけましょう。

また、少しでもかぜを感じたらホットミルクやハチミツとレモンを入れたお湯、卵酒など熱い飲みものを摂り、体の芯から暖めましょう。

かぜに効く卵酒の作り方





パイを見るのも真剣、でも楽しく交流が出来ました

フ ォ ト ア ル ブ ム

リーチ、イッパツ、マーじゃん交流会

農協青年部レクリエーション委員会企画による、交流マーじゃん大会が1月25日、麻雀荘らくえんを会場に開催されました。

参加者は12人と、企画した委員を多少がっかりさせましたが、地区を越え年齢差もある中で、マーじゃんの卓を囲みお互い楽しい交流となりました。中でも今回は、部員の奥さんも参加し、ひときわ明るい雰囲気となったようです。上位入賞者は次の通り。

優勝 笠原康博・2位 福嶋寿顕・3位 高橋敏行



今年も元気にがんばりましょうと乾杯

10周年に向け さらに飛躍を

中標津町野菜生産
組合定期総会

第10回中標津町野菜生産組合定期総会及び新年交流会が、マルエー温泉を会場に開催され、平成6年度活動報告、収支決算、平成7年度活動計画案、収支予算案について協議されました。

平成7年度は、組合設立10周年にあたり「記念祝賀会の開催と記念誌の発行」が決定されました。また、朝市は5月19日から9月29日毎週金曜日の20回が予定されています。

総会終了後は、新年交流会が行なわれ、今年も皆さんで力を合わせ頑張りましょうと誓い合っていました。

なお、平成7年度役員が下記の通り決定されました。

組合長 広瀬茂子氏、副組合長 房川秀子氏
会計 丹羽タカ氏、監事 佐々木ミヤ氏



総会では10周年に向け真剣に議案が協議されました



海を見おろしいざ出発

スキーを 満喫!

青年部俵橋支部

青年部俵橋支部では、家族親睦スキーツアーを1月29日、斜里町ウナベツスキー場で開催しました。

参加者は、部員、家族、その他協力者を含め16人。午前9時、俵橋生活館前から農協バスにて出発。中標津地方は雪不足で、スキー場の積雪を車中心配しながら来ましたが、雪も充分、気温も暖かく、コンディションは最高。

今シーズン初滑りの人も多く、雪の感触をたしかめながら、思い思いのシュプールを描いていました。



天気も良く大変楽しいスキーツアーでした



出来上がったお菓子をおいしくいただきました

手づくりの喜びを実感

JRホルスタインクラブ・ウィンタースクール

中標津ジュニアホルスタインクラブ、ウィンタースクールが1月12日雪印乳業中標津工場調理室で開催さ

れました。

今回は、会員及び父母が簡単にできるお菓子づくりに挑戦。

北根室地区普及センターの福井あつ子先生の指導を受けながら、慣れない手つきながらも、お互い協力しながら、できばえ上々のカップケーキやクッキーがたくさん出来上がりました。

最後には、手づくりの喜びを実感しながらみんなでおいしくいただきました。



なかなかまずかしいぞ〜、でも早く作って食べたいな〜

1月の 組合日誌

- 10日 乳牛改良同志会役員会
- 13日 委員長会議
- 17日 婦人部役員会
- 18日 第6回生産委員会
- 19日 農協酪対支部長会議
- 20日 役員定数審議会
- 23日 第5回管理購買委員会
- 24日 定例自治監査 (27日まで)
- 〃 婦人部新年会
- 25日 第8回営農委員会
- 27日 馬鈴しょ振興会定期総会
- 28日 店舗特別委員会
- 30日 第13回理事会
- 31日 てん菜振興会定期総会
- 〃 酪農実習生受入協議会総会

誇りと責任をもって飛翔を

中標津町成人式

中標津町の成人式が1月7日、町体育館で開催され、和服やスーツ姿の新成人約290人が、祝福と励ましを受けました。

式では、藤井弘美教育委員会委員長が「21世紀を開拓し、将来を支える人になってほしい」とあいさつ、また、新出実中標津町長からは、「国際的視野に立ち、未来に向けた可能性に挑戦してほしい」と期待を込めた祝辞が贈られました。

今年は開町50周年の節目にあたり、神奈川県在住の家庭教育カウンセラー・内田玲子さんの「21世紀を担う若者たちへ」と題した講演も行なわれ、新成人を代表して、烏飼仁さんと高橋美祐紀さんが力強く誓いのことばを述べました。



開陽台自作ソリ大会の お知らせ

自作ソリを大募集

中標津町の冬のイベントとして人気を呼んでいる、開陽台自作ソリ大会が2月19日(日)、開陽台育成牧場で開催されます。

競技は、スピード部門、パフォーマンス部門にわかれ、個々で工夫した自作ソリが大集合します。また、楽しいアトラクションやホットメニューの出店も沢山用意しておりますので、多数の参加、ご来場をお待ちしております。

参加申込み、詳細については開陽館(小木)☎④2360、中標津町商工観光課☎③3111、中標津町商工会☎②2720までお問い合わせ下さい。

東方沖地震の大きな痛手

中標津町公民館取り壊す

中標津町の文化活動の拠点として昭和38年に建てられた中標津町公民館が、昨年10月の北海道東方沖地震の被害で使用不能になり、取り壊し、撤去作業が1月17日から行なわれました。この作業は約1週間ほどで終了し、今では跡形なく整地されています。

公民館事務所はすでに7月にオープンする町総合文化会館に引っ越しておりますが、何万人もの人々が利用し、思い出深い公民館がなくなり、寂しさを感じる人も多い事でしょう。

